

あの人この人

定年を機に始めた尺八
仲間になりませんか



伊藤勝己さん（高花台二丁目）

今年の「芳賀ふるさとまつり」は11月10日、11日の両日、芳賀公民館で行われる予定ですが毎年この舞台の部で『カラオケ尺八』を披露してくれるのが「尺八愛好会・竹の響」の皆さんです。この会の会長さんで、スラリとした長身にあご髭をたくわえ、楽しそうに演奏しているのが伊藤勝己さんです。

ご出身は青森県の鮎ヶ沢町。製薬会社の東京勤務時代に奥様と出会い結婚し、芳賀団地に家を建てたのが昭和50年。入居当初は周りに何も無く、見渡す限りの分譲地で、砂ぼこり舞う団地の坂道が本当に大変だったと、奥様と懐かしそうに語ってくれました。

尺八を習い始めたのは退職した65歳の時で、

11年たった今ではご自分で楽器を作ってしまうまでに上達、どっぷりはまっています。尺八は、真竹の根元の方の7つの節を使うそうです。節の内側をくり抜いて管を作り、ここに漆の地を塗り重ねて、音程や音色、音の大きさを調整します。尺八はフルートと同じ仲間で、管に息を吹き込んで音を出します。コーラのビンに口を付けて音を出すのと同じ原理です。指孔（ゆびあな）は表に4つ、裏に1つで、この5つの孔を開いたり閉じたり、半分開いたりするほか、頭を開いたり、首を左右に振って吹き込む息の束を調整することにより、あの心にしみる独特な音色を奏することが出来るのだそうです。

今日も風に乗って2軒隣りのお宅から尺八が聞こえてきます。伸びやかで、のんびりとした音色です。退職を機に始められた尺八を本当に楽しんでるのが伝わってきます。

仕事を辞めたら新しいことに挑戦してみようと思いつきながら、未だに何もできずに落ち込んでいるご同輩、「人生90年。まだ時間がある…」との気持ちで今から何か始めてみませんか。

ちなみに「尺八愛好会・竹の響」は、毎月第2第4の火曜日、午後1時半から芳賀公民館で練習しているほか、ボランティアで福祉施設などの慰問演奏を積極的に行っています。練習にお邪魔して聴かせてもらいましたが、カラオケの伴奏に乗って演奏された「月の砂漠」はとても素晴らしいものでした。

文責 高花台二丁目生涯学習奨励員

馬場 康夫

前橋市立図書館芳賀分館だより

あたりしく入った本の紹介

一般書

- 万引き家族 著者名 是枝 裕和
- ASK 新堂 冬樹
- ファーストラヴ 島本 理生
- 噛みあわない会話と、ある過去について 辻村 深月
- 六月の雪 乃南 アサ
- 青嵐の坂 葉室 麟
- ののはな通信 三浦 しをん
- ミルク・アンド・ハニー 村山 由佳

児童書・絵本

- プログラミングでなにができる？ 超能力者大百科
- 日本全国鉄道超完全図鑑
- 英語でもよめるじぶんだけのいろ おばきやー！
- 漢字はうたう
- スマイル・ペネロペのおみまい



★「青少年読書感想文全国コンクール課題図書」の貸出を行っています。

◆市立図書館、こども図書館、各分館で所蔵する本やCD等は、どこの館でも借りたり返したりすることが出来ます。

◆各分館に利用者開放端末機（OPAC）が設置されており、本館・分館・こども図書館の所蔵資料の検索などが出来ます。